



قوتلارنىڭ Vol.2

GÖBEN 13





CONTENTS

- p2 はじめての島旅
- p7 ファッションと生き方
- p11 世界のみんなと萩ごはん
- p15 民泊はじめました
- p19 the citron snap
- p21 つぎはぎ map



はじめての島旅

萩の人々が暮らす島々のうちの一つ、大島。
少し時間ができたので、足を運んでみることに。

思いがけない出会いや大島に流れる空気が
どこか遠くの町にきたかのように感じさせてくれた。

可愛らしいお花で飾られた萩港。旅の始まり



フェリーは、“はぎおおしま”が目印



デッキに上がると見えてきた！



いよいよ大島に到着





「ぺたんこな島だなく」
萩から見える島々はみんなぺたんこ。
大島もそんな印象だった。

大島の港に着いて、気分任せて小道を進む。

意外にも島の小道は急勾配。傍らで数匹の猫が集会を開いている。
地元のお母さんが乗った原付が数台、軽やかに通りすぎて行った。

ひたすらに小道を登っていくと、突如目前に畑が広がった。

「わあっ……」。思わずため息が漏れる。

海から吹きあがってきた爽やかな風、どこまでも青く広がる海。

眩しい光景に、この土地の暮らしが少し羨ましくなる。

ふと地元の人が声をかけてきた。

「どこから来たん？案内しちゃうけえ」

思いがけぬ出会いに驚きつつも、裏表ない優しさに惹き寄せられる。

「大島はタバコとブロッコリーの畑がいっぱいじゃけえの」

「昼飯は食べたんか？店に電話しちゃうるか」

「帰りのフェリーは何時に乗るんね？間に合うんか」

次々に投げかけられる言葉から伝わる、歓迎の気持ち。

「明日は島のおまつりがあるけえ、またおいで！」

そんな言葉で締めくくり、颯爽と去っていく後ろ姿。

じんわりと温かなものが胸の奥で広がっていくのを感じた。

萩市街地からフェリーでたった25分。

すぐそばにある、特別な島。

大島の日常にきつとまた触れたいくなる。



OSHIMA INFOMATION

大島でランチを食べたい！と思ったら、
日替わり定食が人気の“食事処ふるさと (tel:0838-28-1210)”か
お好み焼きが美味しい“食事処五月庵 (tel:0838-28-0538)”へ！
どちらも不定休なので事前の電話をお忘れなく。

2 ヤマの上の畑

大島の台地を登ると、見渡す限り
ブロッコリーとタバコの畑！
天空の城に来たような不思議な気分

3 いろは坂

大島の漁港が眺められる。
小さく見える船が可愛い

4 大島八幡宮

長く続く階段が印象的な神社。
守り神？の猫さんがお出迎え



1 大島港

大島の情報がもりもりの
“おたから map” はここで手に入れて



今回、大島を歩いたのは…

奥田清子さん（美祢市出身）

昨年、“はぎ地域資産株式会社”が萩市街地にオープンした
萩産むつみ豚のしゃぶしゃぶ専門店“いり吉”の看板娘

fashion

ファッションとは、人そのものを表すと言う。時代や流行を拠り所とせず、個人とファッションが共にあるとしたら、その人の足跡を辿りたいと思った。萩に生まれ、萩に刺激を与える2人のライフスタイルに迫る。

國本中心

Yuji Kunimoto

職業：アーティスト

Profile：萩市出身。第3回日本グラフィック展佳作、第2回宮本三郎記念デッサン大賞展横尾忠則賞など受賞多数。妻でイラストレーターの愛さんとは、ユニット「夫婦善哉」として活動。

週末の夜、自らが作り上げたカフェバー「ハッコニブノンイチ」で、國本さんは、マスターとなる。大好きなお酒を傍らに、大胆さと緻密さが充満する空間で「ここは、國本脳内研究所なんだよ」と笑いなから、アートと夜を味方につける。店に
いる〈國本ゆうじ〉という人は、1つのスタイルなんだと脳が納得する。

カフェバーは、築200年の古民家を改装したもの。隣には、当時、萩初の画材屋として話題になった「萩画房」があり、母方の祖父で油絵画家だった水沼兼雄^{かねお}さんが、教職を引退後に開店した。父

方の高祖父は、藩政時代、磁器の生産で栄えた小畑焼の絵付け師である吉田道亭^{どうてい}。二人とも作品が萩のホールやミュージアムに収められるほどの芸術家で、そのDNAは國本さんの中にしっかり存在する。

幼い頃は、ただ絵を描くことが好きだったという。可愛らしく華のある顔立ちで、よく赤い服を着せられた。それが逆にコンプレックスになり、東京へ出て



からは無精ヒゲを生やし、前衛的なマインドを持つデザイナー服を身につけていた。「この頃は、時代がファッションを作った。お金もかけてたなあ」。映画の看板制作を仕事としながら、20代後半にスタイル画を学ぶため、セツ・モードセミナーに入学。この頃、文化服装学院に通うパタンナーの卵たちに知り合い、問屋街で生地を仕入れ、オリジナルの服を作ってもらっていた。30代前半

からはフリーランスで活動。45歳で萩へ帰郷した。引き継いだ「萩画房」のある通りが寂しくなったことを機に、沸き起こる創作意欲を「ハッコニ

ブノンイチ」という形にしたとき、千葉から来萩していた女性が訪れた。妻の、愛さんだ。「その時おすすめてくれたスポットが、鶴江」と振り返る愛さん。そして9年前の8月21日、愛娘の彩夏^{さいか}ちゃんが誕生。その日付は、8と2と1。ハッコニブノンイチ。萩に帰り、「ハッコニブノンイチ」を創ったことの答えがここにあるなんて、國本さん、シビれます…!

Goods & Story



『ベルサイユのばら』などを描いた池田理代子さんの作品にも登場した!



ヒゲ&アフロヘアな30代の頃の國本さん。帰萩時にもこの服を着用していた



パタンナーの卵だった友人が作ったドレッシーなベスト。今もサイズ感ピッタリ

fashion



中原万里

Mari Nakahara

職業：カフェギャラリーオーナー

Profile：萩市大井地区出身。萩の城下町で存在感を放つカフェギャラリー「くるまやど てんじゅっぺい俵宿 天十平」のオーナー。子どもの頃は、人形作家の辻村寿三郎や歌舞伎の坂東玉三郎など古典的芸術のファン。渋い。

庭そうじ姿が絵になる人。そんな女性こそ、「スタイルがある」と言うのかもしれない。

この日も、シルエットが美しいタイの作家・ヤッコマリカルドの白シャツを着こなし、談笑しつつ開店準備をサツと済ませ、店内にスツと立った。夫である車夫の省吾さんとの出会いから話は始まる。終盤、「最近では1人でも怖くなくなった」と口にしたように、普段は見えない一人の女性の葛藤や変遷も知る機会となった。

30歳、まちづくりの場で省吾さんと知り合った。「彼は、動かないもの根っこの部分を見る人」。生き方や考え方に強く惹かれ、半年で結婚。夏も、冬も、ひとけがない日も、車夫として路上に立つ夫を応援する決意で、文化財申請中の久保田家住宅で開業。翌年、文化財登録されたのを機に、現在の場所に移った。当時は、出産したばかり。子育て期は、コットン衣類を展開していた「ブラハウス(現:



群言堂ぐんげんどう」のウェアを着用。以来、天然素材を選ぶようになった。その後、普段の暮らしでは高価だが、萩にいなから触れられる価値があることを信じ、器や服飾作家の個展をスタート。好きな作家を紹介できる喜びの裏で、実績への重圧を常に背負った。また、9年前にカフェ「晦事コトコト」を開店した時期はスタッフも定まらず最も大変だったそうだが、1年スパンで考

えることで吹っ切れたという。

今、万里さんのワードローブは5セットほど。「モノは自分を投影する。昔より自分のことが見え、似合

うものが分かるようになってきた。プロフィールショナルになり切っていない消費者の部分で大事にしたいから、私は70点がいい」。潔い発言の後、「でも『フフン』と思えるものを1つでも身に着けていたら、モチベーションになるわよね。女性って特にそういうもの！」と頬をゆるめる万里さんは、やっぱり素敵だ。

Goods & Story



版画も手がけるラファエル・ナバスさんが描いたロング丈のTシャツ



夏季に活躍するメガネ型バングル。マットな質感でどんな服も好相性



10月に「天十平」で個展を予定している作家・櫻井はるみさんのトップス

世界のみんなと萩ごはん

2020年東京オリンピックを目前にひかえ、外国人に出会うことが増えてきました。食材が豊富な萩で、世界のみんなと楽しく食卓を囲みたい！けれど、なかには日本の一般的な食事が食べられない人もいます。そこで、知っておきたい食のキーワードと多様な食事情によりそってくれるお店をご紹介します。

知っておきたい食のキーワード	肉	魚	卵	乳製品	ハチミツ
ベジタリアン 菜食主義。卵や乳製品を食べるかは人によって異なる。	×	×	△	△	○
ヴィーガン ベジタリアンのなかでも、より厳密な完全菜食主義。	×	×	×	×	×
ハラール イスラム教で許される食べ物。豚肉やアルコールは禁止。	△	○	○	○	○
グルテンフリー 小麦をとらない。血糖値の急上昇を避けたり腸内環境改善のために選択される。					
アレルギー 特定の食べ物に含まれる物質（人により異なる）に免疫が過剰反応し症状をおこす。					

萩の食材でヴィーガン料理

萩市ふるさとツーリズム推進協議会（はぎまえ698）の主催で6月、料理教室が行われました。植物性の食材オンリーのヴィーガン料理とは思えないほど、ボリューム満点です。



栄養はかたよらないの？

肉をとらないとタンパク質の不足が心配されますが、豆類などから必須アミノ酸を取ることができます。また、不足しがちなビタミンB群は、精製されていない穀物、海藻類から。鉄分やカルシウムは緑黄色野菜、ドライフルーツ、豆類などからとることができます。

教えてくださった人



スーク 調理担当
上田裕子さん

子どものアレルギーをきっかけにマクロビオティックを学び、ナチュラルフードコーディネーターの資格を取得。



スーク 店主
松浦和子さん

青年海外協力隊として2年間中東ヨルダンで活動。多様な食の選択肢に対応できる店を目指し、2014年にフェアトレードやオーガニック商品を扱うスークを開業。

Souq スーク

防府市栄町 1-1-17 OPEN 11:00~17:00 *お弁当販売は平日のみ（祝日除く）
CLOSE 水・日曜 TEL 0835-28-9365 ☒2台（店前）HP <https://souq-yamaguchi.jimdo.com>

La Ceiba ラ・セイバ

田町商店街にある自然食レストラン。できるだけ地元産のオーガニックな食材と体にやさしい調味料で作る料理を提供しています。

「野菜たくさんランチ」は、乳製品、卵OKな場合のベジタリアンメニュー。それ以外のベジタリアン、ヴィーガン、グルテンフリー、アレルギーの方には、専用のメニューがあるわけではありませんが、リクエストに対応して作ってくれるそう。

ナチュラルな雑貨、化粧品、洗剤、調味料などを扱うショップも併設し、音楽ライブなども開催しています。

気軽に食べて、使って、聴いて、感じてもらうことで、ここが持続可能なライフスタイルの中継地点となれば、と語っていただきました。



オーナーの浅井朗さんには、ラ・セイバのシェフだけでなく、市議会議員やサッカー指導者の顔も



野菜たくさんランチ



ショップで販売されている調味料や缶詰。オーガニックな化粧品や洗剤なども取り扱う



La Ceiba ラ・セイバ


萩市東田町 92 TEL 0838-21-4331

OPEN ※営業日は blog でご確認ください

Lunch 12:00~14:00 L.O.

Dinner 18:30~21:00 L.O.

CLOSE 日・月・火曜

 御成道・たまち駐車場利用

blog <http://laceiba.cocolog-nifty.com/>

ホトリテイ

城下町エリアにあり、美しい日本庭園を眺めながらランチが楽しめるカフェ。

観光客の方にもできる限り快適に過ごしていただきたいとの思いから、卵や乳製品がOKな場合は、通常のメニューにはないベジタリアン食の提供を行っています。

店内へは家に入るように靴を脱いで上がります。テーブル席だけでなく座敷席が充実しており、赤ちゃん連れから年配の方まで訪れやすいと評判です。



特別に注文したベジタリアンランチ

ホトリテイ

萩市南片河町 62 TEL 0838-22-1755
OPEN 11:00~17:00 (16:00 L.O.)
CLOSE 不定休
[P] 8台 (店舗敷地内)
Instagram @hotoritei.cafe



「ホトリテイのコーヒー豆を取り寄せている専門店『COFFEE VALLEY』は豆との向き合い方が違う。ぜひ、味わってみてくださいね」と峠谷 守さん

萩侍



唐辛子を練り込んだ「から麺」にトマトチーズをトッピングした「真田焼き」は外国人に人気。キムチと枝豆を添えて

萩侍

萩市吉田町 76 TEL 0838-26-1401
OPEN 18:00~25:00 (日曜のみ 24:00 まで)
CLOSE 月曜
[P] なし (付近の有料駐車場をご利用ください)
Instagram @hagi_samurai

俳優経験もある店主の中元義詮^{よしあき}さんは、侍スタイルでお好み焼きを焼いてくれます。

多様な食の選択肢にあわせた柔軟な対応も魅力的。要望にあわせ「豚肉、卵、ソース抜き」のお好み焼きを焼いたことも。ソースや麺の原材料やお好み焼きの生地に含まれる出汁の成分に注意していただく必要はありますが、楽しい食体験になりそうです。



中元さんは、広島県三原市出身のカープファン。メニューには広島の地酒やご当地ドリンクも

WOOD MOON ウッドムーン

卵・乳製品を使わず、国産米粉や米飴など厳選した植物性素材で作る身体にやさしいナチュラルスイーツ工房。2019年1月に代表・月森紀子さんのご主人の故郷である萩市へ工房を移転し、全国へお菓子を発送しています。

スイーツは全てヴィーガン食で、グルテンフリーやアレルギーの対応も可能です。最近はお客の中にグルテンフリーを実践する人が増えているそう。そうすることによって腸内環境の変化を実感することもあるとか。

月森さん自身は、完全なヴィーガンではなく、大好きなパンや身体を温めてくれると感じるお肉なども時々食べるといいます。単純に「肉はダメ」ではなく、体と対話しながら必要なものを食べていくバランスが大事だと語っていただきました。

また6年前に東京から故郷の島根へと拠点を移してからは、畑の野菜に触れる機会が増え、レシピありきではなく「野菜の気持ち」に導かれるように料理するようになったそう。萩でもご主人とエゴマを植え、スイーツを作る予定。定期的で開催される料理教室や、毎月のスイーツセット「月のふるさと便」で、その料理に触れることができますよ。

7月の「月のふるさと便」は甘夏ロールケーキセット。すべて手作りで毎回違う内容です



焼菓子は萩市内のカフェ 晦事、東京駅構内のニコリーナ エキュート東京店のほか山口・島根県内でも購入できます。詳細はHPで



月森紀子さん。自身がアレルギー体質だったことからマクロビオティックを学び、オーガニックレストランのシェフなどを経て独立。レシピ本など著書も多数

WOOD MOON

萩市大字椿 108 TEL 090-8347-6196

☎ 3台 (工房横)

※ご予約後に、工房での受け取りが可能です。工房を訪問の際は事前に電話かメールでお問い合わせください

Mail woodmoon8@icloud.com

HP <https://woodmoon.jp/>



つぎはぎ農園、民泊はじめました。

萩市の中心部から車で20分弱。古代の息吹が残る大井地区に、夫、子どもと移住して3年目。編集部、石田が暮らす古民家と畑を「つぎはぎ農園」と名付け、民泊を受け入れています。「暮らすように旅する」が当たり前になってきた今、民泊でどんな出会いや楽しさ、苦労があるのかその現状をお伝えします。



畑で採ってきたピワとヨーグルトをオヤツに、自家製ヨーグルトや発酵の話。ご夫妻はニュージーランドのご自宅で日本人留学生のホームステイをたくさん受け入れていたそう。日本語と発音が似ているマオリ語も教えてもらった。

淡い恋に似ている

「ニーは本当に心地いい。美しい山々に囲まれ、静かで落ち着く。東京もいいけれど、この方が好き」

ニュージーランドから来たご夫婦（注）は、何度もそう言った。私にとって日常となった風景の美しさを旅人の目線を通して再確認できる喜びがある。

アイルランドから来た女性は、台所でガスコンロの魚焼きグリルを開けた途端、大笑い。「オー！ キュート！」

ごく普通の魚焼きグリルなのに、何がツボに入るのか、わからないものである。

民泊では、私たち家族が暮らす家に迎え入れるので、何度ゲストを迎えても、受け入れる前には相当なプレッシャーを感じる。

前日に掃除やお部屋の準備、食事の買い出しなど、ドタバタ準備をしながら、ゲストが不快な思いをしないか、食事は口に合うか、不安でいっぱいだ。もうやめようと思ったことは何度もある。

けれど、実際にゲストに出会い、カタコトの英語であっても、語らいながら食事をもとした後は心が通い合う。その感覚は淡い恋に似ている。



お部屋は大きな神棚がある、典型的な和室。隣の和室とあわせて、最大5名が泊まれます。5名泊まるとちょっとギュウギュウ。

（注）外国人ゲストたちは、「萩市ふるさとツーリズム推進協議会」が定期的に受け入れている「Gアドベンチャーズ社（本社：カナダ）」のツアーでやってくる。東京から全国数カ所をまわり、萩でのみ2泊3日の民泊体験をすることができる。



親戚の家感覚で泊まりに来てほしい

わが家は古民家で、なるべく人や環境にやさしい暮らしを心がけているけれど、決してステキ要素だけではない。生活感あふれるごく普通の家庭だ。収納がないので、床の間も本棚になってるし、ところどころ障子が破れていたり、破れた障子に子どもの絵を貼ったりもしている。それを「いいね」と言ってくれる人もいるけど、そう思わない人だっていると思う。ゲストの寝室と私たち家族の寝室はふすま一枚を隔てているだけなので、寝言やイビキは聞こえてしまう。

それでも、移住した萩住人ならではの目線で、萩の過ごし方や地域とのつながり、自然の恵みなど生活のすべてを惜しみなくシェアしたいと思っている。

よかったら、親戚のお家に行くような感覚で民泊しに来てください。つぎはぎ農園は、これから少しずつアップデートしていきます。見守っていただけたらうれしいです。



家となりにある
大井八幡宮に向か
う階段からの眺め。



つぎはぎホームページをオープンしました！

誌面に載りきれない取材レポートなども掲載予定。バックナンバー情報もあります。

<https://tsugihagi.info/>

つぎはぎ農園の情報は、「民泊」ページからご覧ください。

Experience HAGI

feel, taste, discover, relax, create

はぎまえ 6 9 8

3944-1 Fukuishimo, Hagi City,
Yamaguchi Prefecture,
758-0212
Japan



CHECK
OUR WEBSITE!

the Citron Snap

= 夏みかんとわたし =

2019.05.11 萩市平安古・橋本川河川敷
萩夏みかんまつり・「5月かおるテラス」にて



萩市
原 尚豪さん
満美子さん
優雪ちゃん



下関市
小田 加奈子さん

萩市
釘物 佳代子さん



萩市
宮崎 隆秀さん
心菜ちゃん



萩市
藤村 結香さん
木村 咲菜さん
おらが 可くん
おんせ 旺海くん



萩市 上野 優一さん

山口市 超民家やまね



萩市
山縣 雅之さん 大谷 育男さん



萩市 吉本 琳^{りん}さん



下関市
平間 紗季^{なり}さん 裕^{なり}くん



長門市
ボンちゃん家族





残暑厳しき折、いかがお過ごしでしょうか。
この度は、つぎはぎを手にとっていたいただき、
ありがとうございます。

菫の光を集めて、つぎの菫につなげたい。
そんな想いのもと、動き始めて早1年半。
歩みは、ゆっくり。

やっと3号目のお届けとなりました。

世界の食文化に触れ、多様な生き方に魅せられ、
それらを形成するものは、それぞれに尊いと
教えていただいたように思います。

澄んだ空気、打ち付ける波、明るい陽射し。
豊かな個性、無邪気な笑顔、無条件の優しさ。

日々、目まぐるしく変わる世界の中で、
変わることはない、美しいもの。
そんな光をここに詰め込みました。

今、菫にある光が多くの方に届くことを祈って。

つぎはぎ vol.2

2019年8月8日発行

企画・編集・発行 つぎはぎ編集部

<https://tsugihagi.info/>

Facebook

fb.com/tsugihagi.mag/



つぎはぎ編集部

石田 洋子、河津 梨香、松田 澪衣菜、山本 明日美

(菫市地域おこし協力隊)

(NPO 菫まちじゅう博物館)

表紙イラスト提供 國本ゆうじ

ロゴ・イラスト 齋藤 奈保子 Instagram @midorikotty

Special Thanks 本誌の制作にご協力いただいた皆さま

本誌で登場したあの場所へ行ってみよう！

つぎはぎマップ



2019.8.8

To

From

つぎはぎ編集部